

第10回 原子力関係閣僚会議 議事概要

日時：令和4年12月23日（金） 9：30～9：40

場所：官邸2階小ホール

出席者：松野内閣官房長官、永岡文部科学大臣、西村経済産業大臣、西村環境大臣／内閣府特命担当大臣（原子力防災）、高市内閣府特命担当大臣（科学技術政策）、吉川外務大臣政務官、木原内閣官房副長官、磯崎内閣官房副長官、藤井内閣官房副長官補、岡野内閣官房副長官補、上坂原子力委員会委員長、保坂資源エネルギー庁長官

議題：（1）戦略ロードマップの改訂について
（2）「もんじゅ」に関する政府決定等を受けた取組状況について
（3）今後の原子力政策の方向性と行動指針（案）について

○西村経済産業大臣より、資料1-1、1-2に基づき説明

- ・我が国における高速炉開発の方針について、平成30年12月の本会議における「戦略ロードマップ」策定以降、多様な技術間競争を行ってきた。
- ・今年秋までの専門家による技術評価の結果、ナトリウム冷却高速炉が最も有望であると評価した。
- ・こうした成果も踏まえ、今後の実証炉の開発プロジェクトの推進に向け、さらに検討を進めていくべく、「戦略ロードマップ」を改訂したい。

○永岡文部科学大臣より、資料2-1、2-2に基づき説明

- ・高速増殖原型炉「もんじゅ」については、平成28年12月の本会議での決定に基づき、平成30年度より廃止措置に移行している。
- ・その第1段階として、燃料体を燃料池へ移送する作業をしてきたが、本年10月に完了した。

- ・また、ナトリウム及び使用済燃料は、搬出完了見込み時期等、今後の搬出方法や期限などの計画について、地元にお示しした。
- ・この他、当時の政府決定等に基づいて実施してきた、「もんじゅ」サイトを活用した試験研究炉の整備等の地域振興策等の取組状況については資料２－１、資料２－２のとおり。
- ・令和５年度からの廃止措置の第２段階以降においても、安全を最優先に、計画的かつ着実に進めるとともに、政府一体となって対応していく。

○西村経済産業大臣より、資料３－１、３－２に基づき説明

- ・今般、「第六次エネルギー基本計画」、「原子力利用に関する基本的考え方」に則り、また、GX実行会議その他政府の審議会等における議論を踏まえ、「今後の原子力政策の方向性と行動指針（案）」を策定した。
- ・本案は、今後の原子力政策の主要な課題と、その解決に向けた対応の方向性、行動の指針を整理するもの。
- ・政府及び原子力事業者等の関係者は、今後、対応の方向性や行動指針が決定され次第、速やかに取組を具体化し、国民生活や産業の基盤となるエネルギーの安定供給の確保に向け、原子力発電所の最大限の活用に向けた取組を進めていく。

○永岡文部科学大臣より、発言

- ・「もんじゅ」の廃止措置については、引き続き関係省庁とも連携をして、着実に廃止措置や地域振興などに取り組んでいく。
- ・その上で、カーボンニュートラルやエネルギー安全保障などの観点からも、原子力は重要。

- ・文部科学省としては、原子力機構や大学における基盤的な研究開発、「常陽」の早期運転再開をはじめとする基盤インフラの整備、人材育成などについてしっかりと取り組み、原子力政策に貢献していく。

○西村環境大臣／内閣府特命担当大臣（原子力防災）より、発言

- ・原子力防災担当大臣としては、原子力防災体制や避難計画の充実は、原発の稼働如何に関わらず、地域住民の皆様の安全・安心の観点から重要。
- ・引き続き、「地域原子力防災協議会」の枠組みの下、関係省庁や関係自治体と緊密に連携し、各地域の原子力防災体制の充実・強化を図り、原子力災害対応の実効性向上にしっかりと取り組んでいく。
- ・また、環境大臣としては、原子力規制委員会を予算面や体制面でサポートしていく。

○高市内閣府特命担当大臣（科学技術政策）より、発言

- ・内閣府原子力委員会においても、関係省庁や有識者からのヒアリングを踏まえ、今般、「原子力利用に関する基本的考え方」の改訂案をとりまとめたところであり、本日も参考資料としてポイントを配布している。
- ・本日説明のあった「今後の原子力政策の方向性と行動指針（案）」については、これまでの原子力委員会での議論も踏まえて作成いただいていると認識。
- ・ロシアによるウクライナ侵略などを背景として、昨今では、エネルギー安全保障が世界的な課題となっており、我が国としても、エネルギーの安定供給やカーボンニュートラルの観点から、安全性の確保を大前提としつつ、原子力を活用していくことが重要。
- ・内閣府としては、先ほど申し上げた「基本的考え方」の改訂含め、引き続き俯瞰的立場から、原子力政策に意見を申し上げていきたい。

○「戦略ロードマップ」の改訂について、資料１－２のとおり決定

○松野内閣官房長官より、とりまとめの発言

- ・本日、今後の高速炉開発のあり方を明確化すべく「戦略ロードマップ」を改訂した。引き続き、本ロードマップに基づき、高速炉開発を進めていただきたい。
- ・次に、高速増殖原型炉「もんじゅ」の廃止措置について、取組状況を御報告いただいた。引き続き、安全を最優先に、着実に実施していただきたい。
- ・また、昨日開催されたGX実行会議での議論等も踏まえた「今後の原子力政策の方向性と行動指針（案）」を御説明いただいた。本案については、今後パブリックコメントを実施する。
- ・関係閣僚の皆様におかれては、今後も原子力政策に関して、政府一丸となった取組をお願いしたい。

以上